

11 月 22 日 : 引き続き売り圧力から、VN 指数は下落

主要株への売り圧力が続き、各指数とも下落。

ホーチミン取引所の VN 指数は 2 日続落し、0.89% 安の 952.12 ポイントで取引を終えた。

指数は午前中のマイナスから若干戻し、1.25 ポイント高の 961.9 ポイントと小幅に上昇する場面もあったが、その後は売り圧力が強まり再び下げに転じた。

しかしながらホーチミン取引所では、129 銘柄が下落する一方で 200 銘柄が上昇し、流動性も前日から改善され、売買代金が 15 兆 3,000 億ドン（6 億 1,550 万米ドル）の出来高は 9 億 7,900 万株であった。

大型株の下落が主要指数を押し下げ、特に VN30 指数は 1.19% 安の 945.54 ポイントで引けた。VN30 指数では 28 銘柄が下落、そのうちの 2 銘柄がストップ安、11 銘柄が上昇、1 銘柄は変わらずだった。

不動産、銀行セクターが引き続きマーケットの下げを主導した。そのうちビンググループ（VIC）は 4.69% と最も大きく下げた。続いてベトコムバンク（VCB）が 2% 安、ビンホームズが 3.51% 安、マサングループ（MSN）が 3.47% 安、ペトロベトナムガス（GAS）が 1.89% 安とそれぞれ下落した。

その他にはベカメックス（BCM）、ノバランド（NVL）、テクコムバンク（TCB）、ホアファットグループ（HPG）などの下落も市場のセンチメントを圧迫した要因で、特にノバランドは 7% の最大下げ幅を記録した。

一方、一部の主要銘柄には買いが入り、指数の下落を抑えた。なかでも、ベトナム投資開発銀行（BID）は 2.68% 高と大きく上昇した。

また外国人投資家がホーチミン取引所で 2,615 億ドン、ハノイ取引所で 161.5 億ドンの合計 2,800 億ドン買い越したことも市場の下支えになった。

ディスクレイマー

このニュースは、投資の参考となる情報の提供を目的としたもので、投資勧誘を目的として作成したものではありません。投資に関する決定はご自身の判断でなされますようお願い申し上げます。このニュースは、信頼できると考えられる FiinPro という情報源に基づいて作成されていますが、その情報の正確性、完全性を保証するものではありません。このニュースは、Japan Securities Co., Ltd (JSI)から直接提供するという方法でのみ配布いたしております。このニュースのいかなる部分も一切の権利は JSI に帰属しており、電子的または機械的な方法を問わず、いかなる目的であれ、無断で複製または転送等を行わないようお願いいたします。